

公立大学法人大阪府立大学 平成19事業年度業務実績に関する評価結果の概要

大阪府総務部行政改革課

公立大学法人大阪府立大学の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府地方独立行政法人評価委員会による評価を受けることとなっており、平成20年8月29日に開催された第17回評価委員会において、平成19事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

○大項目について、いずれもA評価（計画どおり進捗）であり、大学の教育研究等の質の向上についても計画どおり進捗していることを確認した。

○委員会コメント

「中期目標期間 6 年間の折返し地点を迎えたが、計画どおりに進捗していることを評価する。特に、理事長のイニシアティブのもと、地方独立行政法人としての特長を活かし、経営面や運営面で様々な成果が現れている。これらの成果が、今後、教育研究の質の一層の向上につながることを期待したい。」

※全体評価の結果は、平成17・18年度と同じ評価。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
	S	A	B	C	D	
業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D	○理事長のリーダーシップを活かす取組みが進められ、継続して目標を大幅に上回る多くの外部資金を獲得した。 ○計画に沿った業務運営が着実に進められた。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	○目標を上回る外部研究資金（法人化前の約62.4%増）を引き続き獲得するなど収入面で成果が上がっている。 ○経費の抑制など財務改善の取組みが着実に進められた。
自己点検・評価及び情報提供	S	A	B	C	D	○計画通り部局及び全学単位の自己点検・評価を実施し、自己点検・評価報告書（素案）を取りまとめた。
その他の業務運営	S	A	B	C	D	○施設等の整備や安全管理が着実に実施された。
大学の教育研究等の質の向上		「計画どおり」進捗していることを確認				○教育研究活動が着実に進められ、質的向上が図られている。 特筆すべき主な取組みは次のとおり。 ・総合教育研究機構や看護学研究科等における国プログラムの新規採択、看護学研究科のサテライト教室の設置など、年度計画を上回る進捗があった。 ・大学発ベンチャーの創出や特許出願・取得件数、民間企業等との共同研究・受託研究など、産学官連携の取組みを中心に年度計画の目標を上回る実績があった。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり

※「大学の教育研究等の質の向上」については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、進捗状況の確認にとどめられている。